

神への王道

Bro. レオナルド・ガター

さあ皆さん、サイの不滅の愛の松明を掲げる人になりましょう。そうすれば私たちは皆、全世界の人々が平安で幸せに生きるべきだというスワミの願いを成就するために、それぞれ自分の役割を果たすことになるでしょう。

**サマスタローカーハ スキーノー バヴァントゥー
(すべての世界が幸せでありますように)**

私たち皆が、スワミのメッセージの最高の体現者となりますように！ 私たち皆が、スワミの無限にして神聖なる愛の、清らかな通路となりますように！

最愛なるバガヴァンのダルシャンに与る初めてのインドへの旅で、私はマドラス（現在のチェンナイ市）にいました。私はバガヴァンのことを知りたかったのです。私はいつも考えていました。もし自分が 2000 年前に生きていたら、きっとイエス様に会うために旅をしていただろうと。スワミのことを聞いた後、私はスワミを知らなければならぬと自分自身に言い聞かせました。そして、インドへ来たのです。スワミはご旅行中であり、その日にチェンナイのスダラム（マドラスにあるサイ寺院：写真）に到着される予定でした。ですから、



少なくとも 5 万人の人々と一緒に私もそこにいました。スワミがいつ到着されるかは、だれにもわかりませんでした。しかし、突然、私の心臓は速く打ち始めました。私は自分の心臓に何か問題があるのではないかと思いました。そして、まさにその瞬間、スワミがご到着になった

のです。その日から、スワミがダルシャンに来られる前になると、私の心臓の鼓動は速くなりました。私の心臓は、私の心（思考）よりも先にスワミを認識するのだとわかりました。スワミが私たちにハートに従わなければならないとおっしゃるのはそれが理由であり、ハートは常に私たちを真実へと導いてくれ

るのです。

いつも神を思い出さない

その旅で、私は一日アボッツベリーに滞在したのですが、そこではパブリック・ミーティングが開かれていました。私は文化祭プログラムを見に来られたスワミから、10～20メートルしか離れていない席に座るチャンスを得ました。スワミが席に着かれた時、私は自分を知ってもらいたい良い機会だと考えました。そこで、立ち上がってスワミに近づきました。誰も止めなかったのです。私はスワミの所に行って自分の名刺を手渡しました。スワミは私をご覧になり、名刺を受け取ってくださいました。スワミは微笑まれ、私の手を握っておっしゃいました。「あなたはとてもラッキー（幸運）です」

そうです、親愛なる兄弟姉妹の皆さん、私はとてもラッキーでした。そして皆さん全員がそうなのです。私たちはただそのことに気づき、アーナンダ（至福）に満たされなければなりません。私たちはこの機会を最大限に利用して、サーダナ（霊性修行）を強化しなければなりません。すべての霊性修行において最も重要なことは、神を思い出すことです。神を終日できる限り多く思い出してください。そうすれば、私たちは絶えず神の御前で生きることになります。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、私たちが世界を見る時の眼鏡に問題があるので気づいてください。さあ、悪い眼鏡を捨てましょう。そして今日から、愛の眼鏡であるスワミの眼鏡を使って前進しましょう。スワミの目を通して世界を見ましょう。サイグラス（サイの眼鏡）をかければ、だれも非難することができなくなります。なぜなら、すべての人が最善の動機を持ってその人の最善を尽くしている、と感じるようになるからです。スワミの目だけを通してこの世界を見ましょう。愛のみを感じ、愛のみを思いましょう。これが神への王道です。

永遠なる絆

私たちは沢山の奉仕をすることもできるし、何時間でも瞑想することができます。またプラーナーヤマ（呼吸の制御）を行い、マントラを唱えることもできます。しかし、もしスワミの最も基本的な御教えを実践しないのであれば、進歩はないでしょう。私たちはそういった一切の活動に、サイ・クオリティー

(サイの性質)を追加しなければなりません。私たちのサーダナを強化するというのは、私たちがより愛に満ち溢れるということです。「サイの目」を持てば、私たちはすべてを一つと見なし、すべてをサイと見なし、仲間を非難することを止め、私たち全員が一つであると感じるでしょう。

スワミの帰依者であることの意味に気づくことは大切です。数多くの過去世において、スワミは私たちの魂との間に神聖な絆を結ばれました。スワミは私たちがスワミの信仰団体の中に連れてきて、おっしゃいました。

「そうです、私はあなた方を守り、導き、常にあなた方と共にいます」

この約束と絆は、今生だけのためにあるものではありません。それは私たちがサイと一つであることに目覚め、悟りを得るまでずっと変わらず続きます。今度は、私たちがスワミを受け入れ、スワミの帰依者になる番です。真の帰依者とは、神を愛する人ではありません。これはとても感情的で表面的なものかもしれませんが、さほど問題ではありません。真の帰依者とは、神の愛を受けるに値するように生きる人です。私たち一人ひとりには、神の一触れを受け、神のお召しを受けました。これはサイの最大の奇跡です。

全世界中で素晴らしいことが起こりつつあります。バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババ様は、至るところで人々のハートや心を変化させていらっしゃいます。その多くは、霊性の道を歩んで来なかった人々です。この個人の変容プロセスにおいて、彼らは物事の見方や価値観を変え、同胞のニーズにより関心を抱くようになっていきます。必要としている人々に奉仕を始め、個人的なサーダナを開始しています。これは、世界的に起こっているバガヴァン シュリ サティヤ サイ ババ様の最も素晴らしい奇跡です。ババ様は世界中の何百万もの人々の人生を変えておられるのです。

サイは無限の力と愛の源です。その源は、世界中の何百万もの人々を、より良い人間になるように、自己変容のプロセスに着手するように導いています。そのような人々の多くは、神を拝謁するためにインドへ来たことは一度もありません。しかし、彼らは日々の暮らしの中で、サイの存在とご加護と導きを感じています。私たち皆がそうであったように、彼らもまた神の一触れを受け取っているのです。

神のエネルギーの源

かつて、サイの運動がブラジルで成長し始めた時、それを憂慮し、嫉妬したもう一つの霊的な運動がありました。彼らはリーダーの一人をプラシャーンティ ニラヤムに派遣することに決めました。その人はブラジルでは大変有名で、オーラが見えるような霊的能力を持っていました。それゆえ彼はバガヴァンを見て、バガヴァンがご自分で宣言なさっているほどの人物ではないことを証明するために送り込まれたのです。ブラジルに帰国した時、その人は五千人が参加していた集会で最初の講演をしました。その人は、アシュラム全体を天使たちが取り囲んでいたと述べました。スワミがダルシャンに出て来られると、霊的な光が降り注ぎ、人々を浄め、神の愛で満たしていた、と述べました。その人は私たちの多くが見ていないものを見ました。その人は真の霊性求道者であったため、スワミに関して真実を語ったのです。

もう一つの話をつかち合いたいと思います。その人は毎年6ヶ月間ここに滞在し、よくベランダに座っていたサイの帰依者です。ある時、その帰依者はバガヴァンの写真を撮りました。帰依者はそのフィルムを現像し、写真の中に何か尋常ではないものを見ました。帰依者はそれをスワミにお見せする機会があり、写真の中に現れているものについて尋ねました。スワミは、常にスワミから放射されている神のエネルギーを恩寵によってその帰依者に撮影させたのだとおっしゃいました。私の自宅にはその写真の一枚があります。その素晴らしさを伝えさせてください。スワミのお体から様々な色の光線が照射され、その何筋かは神のエネルギーである螺旋形をしていました。また、空中に漂っているのは光の言葉でした。皆さんは、スワミが空中に何か書くように御手を動かされていたのをご存知でしょう。あの時、スワミの前には光の言葉が浮かんでいたのです。私たちの目は、物理的な形しか見ることができませんでした。四六時中スワミから放射されていた、神のエネルギーを見ることはできませんでした。肉体の目では、ここプラシャーンティ ニラヤムにある並外れた霊的パワーを見ることはできないのです。この神聖な力は今ここに存在し、永遠にここに留まるでしょう。親愛なる兄弟姉妹の皆さん、どうかプラシャーンティ ニラヤムに来るのを止めないでください。皆さん自身をこの驚嘆すべき神のエネルギーで満たし続けてください。

バガヴァンの肉体の御姿が存在しないことで何か変化があったかどうか、私たちは自問するかもしれません。言わせてください。すべてが変わってしまいました。また何一つ変わっていません。今、私たちは有形から無形へと進まなければなりません。しかし、スワミの御姿は私たちのハートの中でまさに生き続けていることを決して忘れないでください。スワミの御姿は私たちのハートの中に刻み込まれており、そこからダルシヤンを与えてくれます。ダルシヤンを受けるために外へ向かう代わりに、ただ私たちは内へ向かうべきなのです。

これもまた重要なことですが、バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババという美しい御姿をまとった神のエネルギーは永遠であり、どこにも消え去ることはありません。そのエネルギーは至るところに存在しています。私たちの人生の中に現れた、その全知全能で遍在の神のエネルギーは、完全に生きています。それは永遠です。それは私たちを導き、守り、人生の中で数多くの姿形を取って現れ続けます。それは今も私たちの祈りを聴き、その祈りに応えています。私たちがどこにしようとも助けてくれています。これは止むことはありません。

バガヴァンの神聖な愛の清らかな通路になろう

とても大切なこととお話ししましょう。サイ オーガニゼーションはバガヴァンのご意志の表現です。そこには、インドのオーガニゼーションや国際オーガニゼーションといったようなものではありません。私たちは皆、一つです。精神と行動において一つなのです。私たちはバガヴァン シュリ サティヤ サイ ババ様の愛によって結ばれています。そして、私たちの望みはスワミのご使命に仕えることです。プラシャーンティ評議会を発足された時、バガヴァンはその役員たちに、「世界の隅々にまで行って私のメッセージを広めなさい」という指令を出されました。サイが私たちに与えてくださった喜びを皆で分かち合いましょう。霊的な救済であるサイのメッセージを皆で分かち合いましょう。サイの蓮華の御足に、私たちのすべてを喜んで捧げましょう。皆でサイの不滅の愛の松明を掲げる人になりましょう。そうすれば、私たちは皆、全世界の人々が平和と幸せの内に生きるべきだというサイの願いを成就させるため、それぞれ自分の役割を果たすことになるでしょう。

サマスタローカーハ スキノー バヴァントゥー
(すべての世界が幸せでありますように)

私たち皆が、スワミのメッセージの最高の体現者となりますように！ 神の無限にして神聖なる愛の、清らかな通路となりますように！ 太陽はいつか空から消えてしまうかもしれません。しかし、バガヴァン シュリ サティヤ サイババの栄光と名声が消えることは決してありません。それは永遠にますます輝き続けることでしょう！

出典：『サナータナ サーラティ』2012年4月号